

## 5.4 参考資料

参考資料として、底生生物・底質調査結果のデータ一覧を以降に添付する。





表 5.4-2(1) 潮下帯定量調査 重要種一覧


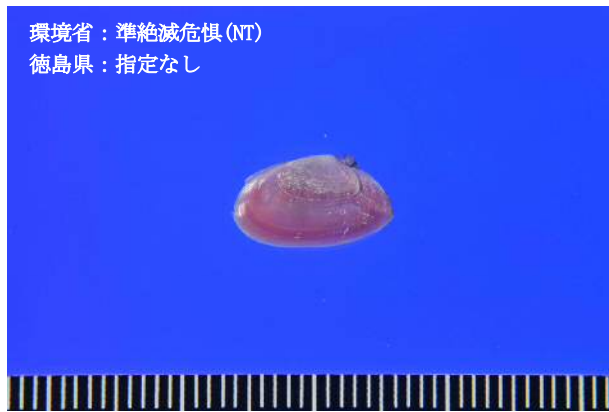
ウミゴマツボ	マクラガイ
<p>環境省：準絶滅危惧 (NT) 徳島県：指定なし</p> 	<p>環境省：準絶滅危惧 (NT) 徳島県：指定なし</p> 
ヤマホトトギス	フジノハナガイ
<p>環境省：準絶滅危惧 (NT) 徳島県：指定なし</p> 	<p>環境省：準絶滅危惧 (NT) 徳島県：指定なし</p> 
キュウシュウナミノコ	サクラガイ
<p>環境省：準絶滅危惧 (NT) 徳島県：指定なし</p> 	<p>環境省：準絶滅危惧 (NT) 徳島県：指定なし</p> 

表 5.4-2(2) 潮下帯定量調査 重要種一覧

オオモノノハナ	オチバガイ
<p>環境省：準絶滅危惧 (NT) 徳島県：指定なし</p> 	<p>環境省：準絶滅危惧 (NT) 徳島県：留意 (DD)</p>  <p>オチバガイについては、通常撮影する左殻は破損がはげしいため、今回は右殻を撮影</p>
チゴマテガイ	
<p>環境省：絶滅危惧Ⅱ類 (VU) 徳島県：指定なし</p> 	<p>余白</p>











表 5.4-6 平成 27 年 6 月調査分 調査地点別優占種一覧

	格子点上														格子外											
	BG-1	BG-2	BG-3	BG-4	BG-5	BG-6	BG-7	BG-8	BG-9	BG-10	BG-11	BG-12	BG-13	BG-14	B-1	B-2	B-3	B-4	B-5	B-6	B-7	B-8	B-9	B-10	B-11	B-12
地盤高 (T. P. m)	-6.2	-1.9	-4.1	-4.7	-2.7	-3.6	-6.9	-2.0	-2.9	-3.8	-1.6	-1.6	-6.4	-1.5	-6.9	-4.3	-1.1	-5.7	-3.7	-2.7	-5.7	-4.4	-4.9	-4.1	-3.5	-4.3
含泥率 (%)	1.6	1	53.4	0.6	1.5	14	62.3	1.9	19.3	0.8	1.4	1.6	21.5	2.6	46.9	37.9	3.4	3.4	30.9	1.9	6.2	1	0.9	0.7	1.6	0.6

番号	門	綱	種名 (和名・属名)	BG-1	BG-2	BG-3	BG-4	BG-5	BG-6	BG-7	BG-8	BG-9	BG-10	BG-11	BG-12	BG-13	BG-14	B-1	B-2	B-3	B-4	B-5	B-6	B-7	B-8	B-9	B-10	B-11	B-12	地点数		
1	紐形動物		紐形動物門	○			○		○				○										○	○		○			7			
2	軟体動物	腹足	リソボ科																			○							1			
3			クリヒダクシキレ																							○	□		1			
4		二枚貝	ホトギスカイ																○	□		○							2			
5			偽イ科					○																					1			
6			トリガイ													□						□							2			
7			バカガイ		□		○	□	○	□	□		○	□	□	○	□						□	□		□		□	12			
8			チヨハナガイ						□	□																□		□	3			
9			フシハナガイ																													
10			オモモノハ																													
11			シスカイ												○			○	□			○							3			
12			イソシミ																	○	□								1			
13			ミノガイ	○	□		□		□			□						□							□	□		□	8			
14			ゲトリガイ												○						○								2			
15			アサリ																	○	□		□	○	□				3			
16			スタレガイ																			□							1			
17	環形動物	コカイ	クロアシウロコムシ											□															1			
18			<i>Sigalion</i> sp.												○														1			
19			ナカエチロリ																		□				□		□		3			
20			オノミチロリ															□											1			
21			<i>Glycera</i> sp.										○				○												2			
22			オウキコカイ				□																□						2			
23			<i>Aglaophamus</i> sp.				○																						1			
24			<i>Nephtys</i> sp.													○									○					2		
25			カマカリキホシイソム							○						○														2		
26			コアシキホシイソム																	○										1		
27			シノハハエラスビオ					○																					1			
28			エラナシビオ																								○		1			
29			<i>Apelochaeta</i> sp.	○		○			○			○																	4			
30			<i>Thoracophelia</i> sp.																						○	□	○	○	□	○	□	5
31			<i>Paradialychone</i> sp.					○													□		○	□						3		
32	節足動物	軟甲	<i>Iiella</i> sp.										○																	1		
33			ヒサシコエビ科		○									○	○											○		○	□	4		
34			マルコエビ属																	○										1		
35			ワラシヘラムシ属	○	□																									1		
36			ミツヒケマ					○																						1		
37			ツノエビ					○	□																					1		
38			スナモグリ科										○																	1		
39			ヒラコブシ						□																					2		

注) 1. 個体数 (○) あるいは湿重量 (□) による主な出現種として、上位5種あるいは組成比10%以上の種

【 は、希少種保護のため非公開】





表 5.4-8 平成 27 年 10 月調査分 調査地点別優占種一覧

	格子点上														格子外											
	BG-1	BG-2	BG-3	BG-4	BG-5	BG-6	BG-7	BG-8	BG-9	BG-10	BG-11	BG-12	BG-13	BG-14	B-1	B-2	B-3	B-4	B-5	B-6	B-7	B-8	B-9	B-10	B-11	B-12
地盤高 (T.P.m)	-5.7	-2.2	-4.4	-3.7	-3.4	-3.9	-7.1	-2.2	-3.1	-4.0	-1.8	-2.0	-6.6	-2.4	-7.1	-4.0	-1.4	-5.7	-4.7	-2.6	-5.2	-4.4	-4.5	-3.7	-3.2	-4.2
含泥率 (%)	0.4	0.4	24.2	2.0	4.6	28.9	59.6	1.6	10.6	0.2	1.9	1.0	24.8	0.0	90.7	5.5	3.2	21.0	79.3	0.1	1.4	0.5	0.0	2.6	0.0	1.3

番号	門	綱	種名 (和名・属名)	BG-1	BG-2	BG-3	BG-4	BG-5	BG-6	BG-7	BG-8	BG-9	BG-10	BG-11	BG-12	BG-13	BG-14	B-1	B-2	B-3	B-4	B-5	B-6	B-7	B-8	B-9	B-10	B-11	B-12	地点数
1	扁形動物	渦虫	ヒラムシ目	□																									1	
2	紐形動物		紐形動物門	○ □	○				○			○												○ □	○ □	○ □		○ □		8
3	軟体動物	腹足	マクラガイ																											
4		二枚貝	ホトキスカイ												○ □				○ □											2
5			クロタイキ属														□													1
6			バカガイ					□				□		□											○ □				4	
7			チヨノハガイ			○ □		○ □	○ □			○ □																		4
8			バカガイ科																								○		1	
9			フシノハガイ																											
10			シスカイ																				○							1
11			イシジミ				○ □				○ □		○ □		□		○ □					□						○ □	○ □	8
12			チコマテガイ																											
13			シシガイ				□	□		□	□														□		□		6	
14			カカミカイ	○ □																										1
15			アサリ																											3
16			イヨスタレ														○ □		□			○ □							1	
17			フキアゲアサリ属								○																			1
18			ハマグリ属																				○							1
19			ホキガイ																□											1
20	環形動物	コカイ	Sigalion sp.									□																		1
21			ナリウロコムシ科														□													1
22			カクエチロリ					□			□																			3
23			チロリ														□													1
24			Glycera sp.					○					○ □			○ □									○ □	○	○	○ □	○	9
25			カワコカイ属															□												1
26			コクチョウシロカネコカイ			□																								1
27			ミナシロカネコカイ							○																				1
28			Nephtys sp.																					○						1
29			スコカイイナ															□												1
30			シノハハネラビオ			○				○																□				3
31			Pseudopolydora sp.					○															○	○						3
32			Aphelechaeta sp.																											1
33			ヒトエロコカイ科							○							○						○							3
34			Thoracophelia sp.																							○ □				1
35			Lysilla sp.																□											1
36	節足動物	軟甲	ヒサシコエビ科	○	○		○				○		○	○ □		○									○	○	○	○	○ □	12
37			マルコエビ属																			○								1
38			カトソシエビ				○																							1
39			ツノエビ																					□						1
40			スチモクリ科															○ □												1
41			アミケンセンガニ																								□		1	
42	脊索動物	ナメジウオ	ヒカシナメジウオ																											1

注) 1. 個体数 (○) あるいは湿重量 (□) による主な出現種として、上位5種あるいは組成比10%以上の種

【 は、希少種保護のため非公開】

表 5.4-9 平成26年10月調査分 調査地点別貝類体長一覧

調査地点	種名	番号	大きさ (mm)	備考
B-9	ハカガイ	1	13.3	
B-11	ハカガイ	1	12.1	
BG-2	ハカガイ	1	15.1	
BG-4	ハカガイ	1	14.2	
		2	7.4	
BG-5	ハカガイ	1	12.9	
BG-6	ハカガイ	1	11.0	
	カサミ	1	51.5	
BG-12	ハマグリ属	1	3.4	

注) 1. 測定対象種は、重要種及び有用種（貝類、大型甲殻類）とした。

2. 大きさは、二枚貝類は殻長を、巻き貝類（腹足綱）は殻高長を、大型甲殻類は甲幅長を示す。

調査期日：平成26年10月9～11、21日

調査方法：スミス・マッケンタ付型採泥器による3回採泥

表 5.4-10 平成 27 年 6 月調査分 調査地点別貝類体長一覧

調査地点	種名	番号	大きさ (mm)	備考
B-2	アサリ	1	14.0	
		2	11.4	
B-3	アサリ	1	12.5	
		2	11.1	
		3	10.6	
		4	8.5	
		5	8.0	
		6	8.0	
		7	7.8	
		8	7.6	
		9	5.4	
		10	4.4	
B-4	ハマケリ属 アサリ	1	3.9	
		1	12.4	
		2	8.2	
		3	4.9	
		4	4.3	
B-5	トリガイ	1	18.2	
	アサリ	1	13.5	
B-6	ハカガイ アサリ	2	9.2	
		1	27.2	
		1	20.2	
		2	18.2	
		3	15.9	
		4	14.1	
		5	12.7	
		6	12.4	
		7	10.9	
		8	10.6	
		9	10.6	
		10	10.4	
		11	9.9	
		12	9.5	
		13	9.0	
		14	8.8	
		15	8.2	
		16	7.7	
		17	7.0	
		18	7.0	
		19	6.8	
		20	6.8	
		21	6.8	
		22	6.8	
		23	6.6	
		24	6.2	
		25	4.7	
		26	4.6	
		27	4.4	
		28	4.3	
		29	4.3	
		30	4.2	
		31	4.1	
		32	4.1	
		33	3.9	
34	3.8			
35	3.8			
B-6	アサリ	36	3.8	
		37	3.7	
		38	3.3	
		39	3.2	
		40	2.9	
		41	2.8	
		42	2.5	
		43	-	破損
		44	-	破損

調査地点	種名	番号	大きさ (mm)	備考
B-7	ハカガイ	1	12.0	
B-9	ハカガイ	1	46.2	
		2	30.7	
		3	27.9	
B-11	ハカガイ	1	40.5	
BG-2	ハカガイ	1	31.9	
BG-4	ハカガイ	1	24.4	
		2	22.1	
		3	17.0	
BG-5	ハカガイ	1	15.7	
BG-6	ハカガイ	1	18.5	
BG-7	アサリ	1	5.9	
		2	4.7	
BG-8	サルボウガイ属 ハカガイ	1	2.6	
		1	26.6	
		2	26.5	
		3	23.6	
		4	16.3	
		5	13.5	
BG-9	シジミ属 サルボウガイ属	1	3.0	
		1	12.8	
BG-10	ハカガイ	1	18.8	
		1	29.7	
BG-11	ハカガイ	2	20.9	
		1	33.4	
BG-12	ハカガイ	1	26.7	
		2	16.1	
		3	11.9	
		4	7.8	
BG-13	トリガイ	1	22.5	
	アサリ	1	5.0	

注) 1. 測定対象種は、重要種及び有用種（貝類、大型甲殻類）とした。  
 2. 大きさは、二枚貝類は殻長を、巻き貝類（腹足綱）は殻高長を、大型甲殻類は甲幅長を示す。  
 調査期日：平成27年6月1～3日  
 調査方法：スリ・マッシュリヤ型採泥器による3回採泥

表 5.4-11 平成 27 年 10 月調査分 調査地点別貝類体長一覧

調査地点	種名	番号	大きさ (mm)	備考
B-2	アサリ	1	4.1	
		2	4.1	
		3	3.4	
		4	2.9	
		5	2.6	
		6	2.6	
		7	2.4	
		8	2.4	
		9	2.4	
		10	2.3	
		11	2.3	
		12	2.2	
		13	2.2	
		14	2.1	
		15	2.0	
		16	2.0	
		17	1.9	
		18	1.8	
		19	1.8	
		20	1.8	
		21	1.7	
		22	1.7	
		23	1.6	
B-4	アサリ	1	10.4	
		2	9.5	
		3	4.1	
		4	2.0	
B-6	ハカガイ	1	6.8	
		2	6.7	
		3	4.9	
		4	4.7	
		5	4.5	
		6	4.2	
		7	3.3	
		8	3.1	
		9	3.0	
	アサリ	1	12.1	
		2	10.4	
		3	9.6	
		4	9.2	
		5	8.2	
		6	7.9	
		7	7.9	
		8	7.7	
		9	7.1	
		10	5.1	
		11	4.8	
		12	4.8	
		13	4.7	
		14	4.4	
	15	4.2		
	16	3.7		
	17	3.5		
	18	2.8		
	19	2.6		
	ハマグリ類	1	5.2	
		2	4.5	
		3	4.2	
		4	3.0	
		5	2.9	
6		2.7		
7		2.6		
8		2.6		
9		2.5		
10		2.5		
11		2.4		
12		2.2		
13		2.2		

調査地点	種名	番号	大きさ (mm)	備考
B-8	ハカガイ	1	5.9	
		2	5.0	
B-10	マガリ	1	26.8	
BG-4	ハカガイ	1	11.6	
		2	9.0	
BG-5	ハカガイ	1	16.0	
		2	6.9	
BG-6	ハカガイ	1	13.6	
		2	12.2	
		3	5.9	
BG-9	ハカガイ	1	9.4	
		2	8.7	
		3	8.3	
		4	8.3	
		5	7.8	
		6	7.4	
		7	7.2	
		8	6.4	
		9	4.8	
		10	4.6	
BG-11	ハカガイ	1	18.8	

注) 1. 測定対象種は、重要種及び有用種（貝類、大型甲殻類）とした。  
 2. 大きさは、二枚貝類は殻長を、巻き貝類（腹足綱）は殻高長を、大型甲殻類は甲幅長を示す。  
 調査期日：平成27年10月10～12日  
 調査方法：スス・マシタ付型採泥器による3回採泥





表 5.4-14 平成 27 年 10 月調査分 含有試験結果

項目		単位	BG-1	BG-2	BG-3	BG-4	BG-5	BG-6	BG-7	BG-8	BG-9	BG-10	BG-11	BG-12	BG-13	BG-14
粒度組成	粗礫分(19~75mm)	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中礫分(4.75~19mm)	%	1.3	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	細礫分(2~4.75mm)	%	0.4	1.3	0.0	0.1	0.1	0.0	0.2	0.3	0.0	1.3	0.2	0.3	0.8	0.2
	粗砂分(0.85~2mm)	%	3.6	4.0	0.2	0.1	0.3	0.3	0.1	0.4	0.3	3.1	0.4	0.3	0.8	1.0
	中砂分(0.25~0.85mm)	%	78.0	73.6	1.5	53.3	17.1	1.5	9.0	68.2	10.9	83.4	22.8	83.3	54.7	80.0
	細砂分(0.075~0.25mm)	%	16.3	18.3	74.1	44.5	77.9	69.3	31.1	29.5	78.2	11.0	74.7	15.1	18.9	18.8
	シルト分(0.005~0.075mm)	%	0.4	0.4	17.1	2.0	4.6	26.3	45.8	1.6	7.3	0.2	1.9	1.0	15.9	0.0
	粘土分(0.005mm以下)	%			7.1			2.6	13.8		3.3				8.9	
	中央粒径(D50)	mm	0.4670	0.4082	0.1061	0.2604	0.1745	0.1071	0.0498	0.2912	0.1433	0.4601	0.1908	0.3437	0.2695	0.3578
	強熱減量	%	0.7	0.8	1.4	1.0	1.1	1.5	4.5	0.9	1.3	0.8	1.4	0.9	2.2	0.7
硫化物	mg/g	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.05	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.02	<0.01
含水率	%	23.6	25.8	32.8	28.6	29.8	33.9	41.3	27.8	30.9	20.9	29.3	28.3	33.0	19.4	
COD	mg/g	<0.5	<0.5	1.4	0.5	0.9	2.0	15	<0.5	1.5	<0.5	0.7	<0.5	7.9	0.5	
酸化還元電位	mv	349	337	274	301	239	138	36	291	199	347	305	338	47	350	
全窒素	mg/g	0.10	0.12	0.32	0.20	0.21	0.36	1.2	0.19	0.32	0.10	0.23	0.15	0.59	0.14	
TOC	mg/g	0.71	0.77	1.4	1.0	1.0	1.8	10	0.90	1.4	0.62	1.0	0.81	5.3	0.74	
全リン	mg/g	0.18	0.20	0.51	0.27	0.43	0.53	0.60	0.31	0.43	0.24	0.43	0.21	0.42	0.27	
AVS	mg/g	-	-	-	-	-	-	0.43	-	-	-	-	-	-	-	

項目		単位	B-1	B-2	B-3	B-4	B-5	B-6	B-7	B-8	B-9	B-10	B-11	B-12
粒度組成	粗礫分(19~75mm)	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中礫分(4.75~19mm)	%	0.0	6.4	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	細礫分(2~4.75mm)	%	0.7	3.6	0.2	0.9	0.5	0.4	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.0
	粗砂分(0.85~2mm)	%	0.6	5.0	0.8	1.6	0.5	1.0	0.3	0.3	0.2	0.3	0.3	0.1
	中砂分(0.25~0.85mm)	%	2.2	45.9	41.1	60.1	1.3	88.2	29.3	75.7	56.2	57.9	67.0	74.8
	細砂分(0.075~0.25mm)	%	5.8	33.6	54.7	15.1	18.4	10.3	68.8	23.2	43.3	38.9	32.4	23.8
	シルト分(0.005~0.075mm)	%	58.2	3.7	3.2	11.8	60.9	0.1	1.4	0.5	0.0	2.6	0.0	1.3
	粘土分(0.005mm以下)	%	32.5	1.8		9.2	18.4							
	中央粒径(D50)	mm	0.0104	0.3330	0.2229	0.2950	0.0245	0.3873	0.2035	0.3062	0.2674	0.2717	0.2891	0.3104
	強熱減量	%	6.1	2.0	1.5	1.7	6.5	1.1	1.6	1.2	1.3	1.3	0.9	0.8
硫化物	mg/g	0.49	0.01	<0.01	0.01	0.33	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
含水率	%	54.7	28.7	29.3	28.0	53.4	27.2	29.7	27.5	28.2	23.9	28.9	22.0	
COD	mg/g	29	4.5	1.0	4.2	31	0.5	0.7	<0.5	0.5	0.5	0.5	<0.5	
酸化還元電位	mv	37	42	251	-2	-39	147	226	244	259	335	325	364	
全窒素	mg/g	1.4	0.38	0.26	0.31	1.4	0.14	0.22	0.15	0.19	0.21	0.20	0.17	
TOC	mg/g	18	3.4	1.3	2.7	24	0.89	1.0	0.97	1.1	0.94	1.0	0.81	
全リン	mg/g	0.67	0.34	0.34	0.30	0.67	0.20	0.39	0.25	0.29	0.26	0.25	0.26	

表 5.4-15 平成 26 年 10 月調査分 溶出試験結果

項目	単位	BG-7	BG-8	BG-9	基準値
アルキル水銀化合物	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	検出されないこと
水銀又はその化合物	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.005
カドミウム又はその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
鉛又はその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
有機りん化合物	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	1
六価クロム化合物	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	0.5
砒素又はその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
シアン化合物	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	1
P C B	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.003
銅又はその化合物	mg/L	<0.3	<0.3	<0.3	3
亜鉛又はその化合物	mg/L	<0.2	<0.2	<0.2	2
ふっ化物	mg/L	<1.5	<1.5	<1.5	15
トリクロロエチレン	mg/L	<0.03	<0.03	<0.03	0.3
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
ベリリウム又はその化合物	mg/L	<0.25	<0.25	<0.25	2.5
クロム又はその化合物	mg/L	<0.2	<0.2	<0.2	2
ニッケル又はその化合物	mg/L	<0.12	<0.12	<0.12	1.2
バナジウム又はその化合物	mg/L	<0.15	<0.15	<0.15	1.5
有機塩素化合物	mg/kg	<4	<4	<4	40
ジクロロメタン	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	0.2
四塩化炭素	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	0.02
1,2-ジクロロエタン	mg/L	<0.004	<0.004	<0.004	0.04
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	0.2
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.04	<0.04	<0.04	0.4
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.3	<0.3	<0.3	3
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	<0.006	<0.006	<0.006	0.06
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	0.02
チウラム	mg/L	<0.006	<0.006	<0.006	0.06
シマジン	mg/L	<0.003	<0.003	<0.003	0.03
チオベンカルブ	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	0.2
ベンゼン	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
セレン又はその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
1,4-ジオキサン	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	0.5
ダイオキシン類	pg-TEQ/L	0.0019	0.00074	0.0032	10

注) 基準値：水底土砂に係る判定基準「海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律施行令第5条第1項に規定する埋立場所等に排出しようとする金属等を含む廃棄物に係る判定基準を定める省令」(昭和48年2月17日総理府令第6号)

表 5.4-16 平成 27 年 6 月調査分 溶出試験結果

項目	単位	BG-7	BG-8	BG-9	基準値
アルキル水銀化合物	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	検出されないこと
水銀又はその化合物	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.005
カドミウム又はその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
鉛又はその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
有機りん化合物	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	1
六価クロム化合物	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	0.5
砒素又はその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
シアン化合物	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	1
P C B	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.003
銅又はその化合物	mg/L	<0.3	<0.3	<0.3	3
亜鉛又はその化合物	mg/L	<0.2	<0.2	<0.2	2
ふっ化物	mg/L	<1.5	<1.5	<1.5	15
トリクロロエチレン	mg/L	<0.03	<0.03	<0.03	0.3
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
ベリリウム又はその化合物	mg/L	<0.25	<0.25	<0.25	2.5
クロム又はその化合物	mg/L	<0.2	<0.2	<0.2	2
ニッケル又はその化合物	mg/L	<0.12	<0.12	<0.12	1.2
バナジウム又はその化合物	mg/L	<0.15	<0.15	<0.15	1.5
有機塩素化合物	mg/kg	<4	<4	<4	40
ジクロロメタン	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	0.2
四塩化炭素	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	0.02
1,2-ジクロロエタン	mg/L	<0.004	<0.004	<0.004	0.04
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	1
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.04	<0.04	<0.04	0.4
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.3	<0.3	<0.3	3
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	<0.006	<0.006	<0.006	0.06
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	0.02
チウラム	mg/L	<0.006	<0.006	<0.006	0.06
シマジン	mg/L	<0.003	<0.003	<0.003	0.03
チオベンカルブ	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	0.2
ベンゼン	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
セレン又はその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
1,4-ジオキサン	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	0.5
ダイオキシン類	pg-TEQ/L	0.19	0.00015	0.12	10

注) 基準値：水底土砂に係る判定基準「海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律施行令第5条第1項に規定する埋立場所等に排出しようとする金属等を含む廃棄物に係る判定基準を定める省令」(昭和48年2月17日総理府令第6号)

表 5.4-17 平成 27 年 10 月調査分 溶出試験結果

項目	単位	BG-7	BG-8	BG-9	基準値
アルキル水銀化合物	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	検出されないこと
水銀又はその化合物	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.005
カドミウム又はその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
鉛又はその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
有機りん化合物	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	1
六価クロム化合物	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	0.5
砒素又はその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
シアン化合物	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	1
P C B	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.003
銅又はその化合物	mg/L	<0.3	<0.3	0.3	3
亜鉛又はその化合物	mg/L	<0.2	<0.2	<0.2	2
ふっ化物	mg/L	<1.5	<1.5	<1.5	15
トリクロロエチレン	mg/L	<0.03	<0.03	<0.03	0.3
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
ベリリウム又はその化合物	mg/L	<0.25	<0.25	<0.25	2.5
クロム又はその化合物	mg/L	<0.2	<0.2	<0.2	2
ニッケル又はその化合物	mg/L	<0.12	<0.12	<0.12	1.2
バナジウム又はその化合物	mg/L	<0.15	<0.15	<0.15	1.5
有機塩素化合物	mg/kg	<4	<4	<4	40
ジクロロメタン	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	0.2
四塩化炭素	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	0.02
1,2-ジクロロエタン	mg/L	<0.004	<0.004	<0.004	0.04
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	1
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.04	<0.04	<0.04	0.4
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.3	<0.3	<0.3	3
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	<0.006	<0.006	<0.006	0.06
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	0.02
チウラム	mg/L	<0.006	<0.006	<0.006	0.06
シマジン	mg/L	<0.003	<0.003	<0.003	0.03
チオベンカルブ	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	0.2
ベンゼン	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
セレン又はその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
1,4-ジオキサン	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	0.5
ダイオキシン類	pg-TEQ/L	0.06	0.00240	0.04	10

注) 基準値：水底土砂に係る判定基準「海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律施行令第5条第1項に規定する埋立場所等に排出しようとする金属等を含む廃棄物に係る判定基準を定める省令」(昭和48年2月17日総理府令第6号)

5.4.2 潮間帯定量調査

表 5.4-18 潮間帯定量調査 確認種一覧

番号	門	綱	目	科	和名	学名	重要種選定基準及びカテゴリー		先行事例 確認有無	H26.10	H27.6	H27.10
							環境省	徳島県				
1	軟体動物	二枚貝	マルスタレガイ	フジノハナガイ	フジノハナガイ	<i>Chion semigranosus</i>	NT		○		○	
2				シオササナミ	イソシナミ	<i>Nuttallia japonica</i>			○			○
3				マルスタレガイ	ホキアサリ	<i>Gomphina semicancellata</i>			○		○	
4					フキアガアサリ属	<i>Gomphina</i> sp.			○		○	○
5	環形動物	コカイ	サシハコガイ	チリ		<i>Glycera</i> sp.			○			○
6			イメ	キホシイソメ	カタマカリキホシイソメ	<i>Scoletoma longifolia</i>			○	○		
7					コソキホシイソメ	<i>Scoletoma nipponica</i>			○		○	
8			スピオ	スピオ	シノハネラスピオ	<i>Parapionospio patiens</i>			○	○		
9						<i>Scolecopsis</i> sp.			○	○	○	
10	節足動物	アコアシ	無柄	フジツボ	サンカクフジツボ	<i>Balanus trigonus</i>			○	○		
11		軟甲	アミ	アミ		Mysidae			○			○
12			ヨコエビ	ハマトビムシ	ヒゲナガハマトビムシ	<i>Trinorchestia trinitatis</i>			○			○
13				マルソコエビ	マルソコエビ属	<i>Urothoe</i> sp.			○	○		○
14			ワラジムシ	スナホリムシ	ヒメスナホリムシ	<i>Excirolana chiltoni</i>			○	○		○
8目11科14種							1	0	13	5	8	5

注) 1. ○は出現を示す。  
 2. 先行事例は、阿波しらすぎ大橋建設事業において平成15~23年度に実施された底生生物調査のことを指す。  
 3. 重要種選定基準を以下に示す。

- ・環境省：
  - 環境省レッドリスト（第4次レッドリスト）, 環境省報道発表資料, 2012. 8. 28, 2013. 2. 1
  - 絶滅 (EX) : すでに絶滅したと考えられる種
  - 野生絶滅 (EW) : 飼育・栽培下でのみ存続している種
  - 絶滅危惧 I 類 (CR+EN) : 絶滅の危機に瀕している種
  - 絶滅危惧 I A 類 (CR) : ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高い
  - 絶滅危惧 I B 類 (EN) : I A 類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高い
  - 絶滅危惧 II 類 (VU) : 絶滅の危険が増大している種
  - 準絶滅危惧 (NT) : 現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
  - 情報不足 (DD) : 評価するだけの情報が不足している種
  - 地域個体群 (LP) : 地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高い
- ・徳島県：
  - 徳島県版レッドデータブック 徳島県の絶滅のおそれのある野生生物 - 徳島県, 2001.
  - (その他無脊椎動物: 平成25年改訂, 汽水・淡水魚類改訂: 平成26年改訂)
  - 絶滅 (EX) : すでに絶滅した種
  - 野生絶滅 (EW) : 飼育・栽培下でのみ存続している種
  - 絶滅危惧 I 類 (CR+EN) : 絶滅の危機に瀕している種
  - 絶滅危惧 I A 類 (CR) : ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高い
  - 絶滅危惧 I B 類 (EN) : I A 類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高い
  - 絶滅危惧 II 類 (VU) : 絶滅の危険が増大している種
  - 準絶滅危惧 (NT) : 存続基盤が脆弱な種
  - 留意 (DD) : 評価するだけの情報が不足している種

表 5.4-19 潮間帯定量調査 重要種一覧


フジノハナガイ	
 <p>環境省：準絶滅危惧 (NT)                  徳島県：指定なし</p>	<p>余白</p>

表 5.4-20 平成 26 年 10 月調査分 調査地点別確認種一覧

番号	門	綱	目	科	学名	和名	地点数	BTL-1上		BTL-1中		BTL-1下		BTL-2上		BTL-2中		BTL-2下		合計		
								個	湿	個	湿	個	湿	個	湿	個	湿	個	湿	個	湿	個
1	環形動物	ゴカイ	イソム	キヌシイソム	<i>Scoletoma longifolia</i>	オソムキヌシイソム	1												1	+	1	+
2			スズメ	スズメ	<i>Paraprionospio patiens</i>	シノノハスズメ	1												1	+	1	+
3					<i>Scolelepis</i> sp.		1										1	+			1	+
4	節足動物	アソ	無柄	アソ	<i>Balanus trigonus</i>	オソムキヌシイソム	1							3	0.04						3	0.04
5		軟甲	アソ	アソ	<i>Excirolana chiltoni</i>	ヒメアソ	2			1	+			11	0.13						12	0.13
種類数								0	0	1	0	0	0	11	0.13	4	0.04	2	0	18	0.17	
合計								0	0	1	0	0	0	11	0.13	4	0.04	2	0	18	0.17	

注) 1. 「個」は個体数の略。  
 2. 「湿」は湿重量の略。  
 3. 湿重量の「+」は0.01g/0.15m<sup>2</sup>未満を示す。

調査期日：平成26年10月9～11、21日

調査方法：25cm枠コトラーによる2回採泥

(単位：個体数；個体/0.125m<sup>2</sup>、湿重量；g/0.125m<sup>2</sup>)

表 5.4-21 平成 27 年 6 月調査分 調査地点別確認種一覧

番号	門	綱	目	科	学名	和名	地点数	BTL-1上		BTL-1中		BTL-1下		BTL-2上		BTL-2中		BTL-2下		合計			
								個	湿	個	湿	個	湿	個	湿	個	湿	個	湿	個	湿	個	湿
1	軟体動物	二枚貝	マルスダレガイ	シノノハガイ	<i>Chion semigranulosus</i>	アソムキヌシイソム																	
2			マルスダレガイ	マルスダレガイ	<i>Gomphina semicancellata</i>	オソムキヌシイソム	1					1	6.96								1	6.96	
3					<i>Gomphina</i> sp.	オソムキヌシイソム	2					1	0.16						1	0.09	2	0.25	
4	環形動物	ゴカイ	イソム	キヌシイソム	<i>Scoletoma nipponica</i>	オソムキヌシイソム	1												1	0.4	1	0.4	
5			スズメ	スズメ	<i>Scolelepis</i> sp.		2			1	0.01	2	0.02								3	0.03	
6	節足動物	軟甲	アソ	アソ	Mysidae	アソ	1					2	+								2	+	
7			アソ	アソ	<i>Trinorchestia trinitatis</i>	ヒメアソ	1	1	+												1	+	
8			アソ	アソ	<i>Urothoe</i> sp.	マルスダレガイ	2			1	+					15	0.02				16	0.02	
種類数																15	0.02				16	0.02	
合計																							

注) 1. 「個」は個体数の略 (単位：個体/0.125m<sup>2</sup>)  
 2. 「湿」は湿重量の略 (単位：湿重量/0.125m<sup>2</sup>)  
 3. 湿重量の「+」は0.01g/0.215m<sup>2</sup>未満を示す。

調査期日：平成27年6月2日

調査方法：25cm枠コトラーによる2回採泥

【    は、貴重種保護の観点より非公開】

表 5.4-22 平成 27 年 10 月調査分 調査地点別確認種一覧

番号	門	綱	目	科	学名	和名	地点数	BTL-1上		BTL-1中		BTL-1下		BTL-2上		BTL-2中		BTL-2下		合計		
								個	湿	個	湿	個	湿	個	湿	個	湿	個	湿	個	湿	
1	軟体動物	二枚貝	マルスダレガイ	シノノハガイ	<i>Nuttallia japonica</i>	アソムキヌシイソム	2			1	0.02								2	0.15	3	0.17
2			マルスダレガイ	マルスダレガイ	<i>Gomphina</i> sp.	オソムキヌシイソム	1												1	0.45	1	0.45
3	環形動物	ゴカイ	オソム	オソム	<i>Glycera</i> sp.	オソム	1												1	0.01	1	0.01
4	節足動物	軟甲	アソ	アソ	<i>Urothoe</i> sp.	マルスダレガイ	2			11	0.01					3	+				14	0.01
5			アソ	アソ	<i>Excirolana chiltoni</i>	ヒメアソ	3	11	0.21	1	0.01			10	0.10						22	0.32
種類数								1	0.21	3	0.04	0	0.00	10	0.10	3	+	4	0.61	41	0.96	
合計								11	0.21	13	0.04	0	0.00	10	0.10	3	+	4	0.61	41	0.96	

注) 1. 「個」は個体数の略 (単位：個体/0.125m<sup>2</sup>)  
 2. 「湿」は湿重量の略 (単位：湿重量/0.125m<sup>2</sup>)  
 3. 湿重量の「+」は0.01g/0.15m<sup>2</sup>未満を示す。

調査期日：平成27年10月11日

調査方法：25cm枠コトラーによる2回採泥

平成 26 年 10 月調査では、貝類の捕獲なし。

表 5.4-23 平成 27 年 6 月調査分 調査地点別貝類体長一覧

調査地点	種名	番号	殻長 (mm)	備考
BTL-1下	オキアサリ	1	32.1	
	フキアゲアサリ属	1	9.7	
BTL-2下	フキアゲアサリ属	1	8.1	

注) 1. 殻長・殻高欄の「-」は破損による測定不可能を示す。

2. 巻き貝類は殻高長を、大型甲殻類は甲幅長を示す。

調査期日：平成27年6月2日

調査方法：25cm枠ドライトによる2回採泥

表 5.4-24 平成 27 年 10 月調査分 調査地点別貝類体長一覧

調査地点	種名	番号	殻長 (mm)	備考
BTL-1中	イソシジミ	1	4.6	
BTL-2下	イソシジミ	1	9.7	
		2	8.3	
	フキアゲアサリ属	1	13.1	

注) 1. 殻長・殻高欄の「-」は破損による測定不可能を示す。

2. 巻き貝類は殻高長を、大型甲殻類は甲幅長を示す。

調査期日：平成27年10月11日

調査方法：25cm枠ドライトによる2回採泥



表 5.4-25 平成 26 年 10 月調査分 含有試験結果

項目	単位	BTL-1			BTL-2			
		上	中	下	上	中	下	
		+50cm	±0cm	-50cm	+50cm	±0cm	-50cm	
粒度組成	粗礫分(19~75mm)	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中礫分(4.75~19mm)	%	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0
	細礫分(2~4.75mm)	%	0.3	0.4	0.2	0.4	1.0	0.0
	粗砂分(0.85~2mm)	%	0.4	1.0	0.3	2.0	1.1	0.8
	中砂分(0.25~0.85mm)	%	49.4	72.0	53.5	67.5	48.4	75.2
	細砂分(0.075~0.25mm)	%	48.2	26.3	45.4	28.8	48.6	23.4
	シルト分(0.005~0.075mm)	%	1.7	0.3	0.6	0.7	0.9	0.6
	粘土分(0.005mm以下)	%						
強熱減量	%	1.4	1.1	1.2	1.1	1.8	1.1	
硫化物	mg/g	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
含水率	mg/g	29.7	27.7	12.4	27.3	30.1	26.8	
COD	mg/g	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	1.6	<0.5	
酸化還元電位	mv	280	244	265	280	252	302	
全窒素	mg/g	0.19	0.14	0.15	0.13	0.21	0.14	
TOC	mg/g	0.88	0.76	0.70	0.81	2.9	0.82	
全リン	mg/g	0.29	0.23	0.28	0.27	0.26	0.25	

表 5.4-26 平成 27 年 6 月調査分 含有試験結果

項目	単位	BTL-1			BTL-2			
		上	中	下	上	中	下	
		+50cm	±0cm	-50cm	+50cm	±0cm	-50cm	
粒度組成	粗礫分(19~75mm)	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中礫分(4.75~19mm)	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	細礫分(2~4.75mm)	%	0.1	0.5	0.3	0.3	0.4	1.5
	粗砂分(0.85~2mm)	%	0.3	2.0	0.9	0.4	1.0	2.4
	中砂分(0.25~0.85mm)	%	65.8	74.1	70.9	79.8	54.0	65.8
	細砂分(0.075~0.25mm)	%	31.8	23.1	27.5	18.3	42.5	29.1
	シルト分(0.005~0.075mm)	%	2.0	0.3	0.4	1.2	2.1	1.2
	粘土分(0.005mm以下)	%						
強熱減量	%	1.4	1.1	1.3	1.2	1.3	1.4	
硫化物	mg/g	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
含水率	%	21.8	20.3	21.3	23.2	21.7	23.3	
COD	mg/g	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	
酸化還元電位	mv	276	271	312	336	291	297	
全窒素	mg/g	0.17	0.14	0.16	0.14	0.14	0.19	
TOC	mg/g	0.77	0.66	0.78	0.70	0.83	0.96	
全リン	mg/g	0.49	0.34	0.29	0.27	0.65	0.24	

表 5.4-27 平成 27 年 10 月調査分 含有試験結果

項目	単位	BTL-1			BTL-2			
		上	中	下	上	中	下	
		+50cm	±0cm	-50cm	+50cm	±0cm	-50cm	
粒度組成	粗礫分(19~75mm)	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中礫分(4.75~19mm)	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	細礫分(2~4.75mm)	%	0.2	0.3	0.5	0.3	1.0	1.7
	粗砂分(0.85~2mm)	%	0.5	0.4	0.9	1.1	4.3	4.6
	中砂分(0.25~0.85mm)	%	70.3	57.0	46.0	60.2	75.0	77.6
	細砂分(0.075~0.25mm)	%	28.8	41.7	52.0	38.2	19.5	15.5
	シルト分(0.005~0.075mm)	%	0.2	0.6	0.6	0.2	0.2	0.6
	粘土分(0.005mm以下)	%						
	中央粒径(D50)	mm	0.3054	0.2676	0.2428	0.2868	0.3710	0.4025
強熱減量	%	1.2	1.4	1.4	1.2	1.1	1	
硫化物	mg/g	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	
含水率	%	27.3	28	27.7	27.7	27.6	25.4	
COD	mg/g	0.6	0.6	0.6	0.5	<0.5	<0.5	
酸化還元電位	mv	315	301	316	331	316	318	
全窒素	mg/g	0.14	0.17	0.17	0.15	0.12	0.1	
TOC	mg/g	0.85	0.93	0.88	0.81	0.83	0.7	
全リン	mg/g	0.23	0.35	0.31	0.24	0.26	0.23	

5.4.3 付着生物調査

表 5.4-28 付着生物調査 確認種一覧（植物、目視観察）

番号	門	綱	目	科	学名	和名	重要種選定基準及びカテゴリ		H26.10	H27.6	H27.10	
							環境省	徳島県				
1	藍藻植物	藍藻			Cyanophyceae	藍藻綱			○	○	○	
2	緑藻植物	緑藻	アオサ	アオサ	<i>Ulva</i> sp.	アオサ属			○	○	○	
3			シオクシ	シオクシ	<i>Chaetomorpha</i> sp.	ジュズモ属				○	○	
4	褐藻植物	褐藻	カキモリ	カキモリ	<i>Colpomenia sinuosa</i>	フクロリ				○		
5			コンブ	チカヅメ	<i>Undaria pinnatifida</i>	ワカメ				○		
6	紅藻植物	紅藻	テングシ	テングシ	<i>Gelidium divaricatum</i>	ヒメテングシ			○	○	○	
7					<i>Gelidium elegans</i>	マクサ			○	○	○	
8			カクレト	ムカデノリ	<i>Grateloupia elliptica</i>	タンノリ				○		
9					<i>Grateloupia imbricata</i>	シガラリ				○		
10					<i>Grateloupia lanceolata</i>	フタノリ				○	○	
11					<i>Grateloupia ramosissima</i>	シガラリ			○	○	○	
12					<i>Grateloupia turuturu</i>	ツルツル				○		
13					<i>Polyopes lancifolia</i>	キョウヒキ				○		
14					<i>Prionitis crispata</i>	トサカマツ				○	○	
15			スキノリ	スカケベニ	<i>Halarachnion latissimum</i>	スカケベニ				○		
16					<i>Chondrus giganteus</i>	オハヅリマタ				○		
17					<i>Gracilaria vermiculophylla</i>	オコノリ				○		
18					<i>Ahnfeltiopsis flabelliformis</i>	オキツリ			○			
19			イグス	イグス	CERAMIAEAE	イグス科				○		
20			フジマツモ		<i>Polysiphonia</i> sp.	イトクサ属				○		
9目13科20種									0	0	6	19

注) 1. ○は出現を示す。

2. 重要種選定基準を以下に示す。

・環境省：

環境省レッドリスト（第4次レッドリスト），環境省報道発表資料，2012. 8. 28, 2013. 2. 1

絶滅 (EX)：すでに絶滅したと考えられる種

野生絶滅 (EW)：飼育・栽培下でのみ存続している種

絶滅危惧 I 類 (CR+EN)：絶滅の危機に瀕している種

絶滅危惧 I A 類 (CR)：ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高い

絶滅危惧 I B 類 (EN)：I A 類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高い

絶滅危惧 II 類 (VU)：絶滅の危険が増大している種

準絶滅危惧 (NT)：現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種

情報不足 (DD)：評価するだけの情報が不足している種

地域個体群 (LP)：地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高い

・徳島県：

徳島県版レッドデータブック-徳島県の絶滅のおそれのある野生生物-，徳島県，2001.

(その他無脊椎動物：平成25年改訂，汽水・淡水魚類改訂：平成26年改訂)

絶滅 (EX)：すでに絶滅した種

野生絶滅 (EW)：飼育・栽培下でのみ存続している種

絶滅危惧 I 類 (CR+EN)：絶滅の危機に瀕している種

絶滅危惧 I A 類 (CR)：ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高い

絶滅危惧 I B 類 (EN)：I A 類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高い

絶滅危惧 II 類 (VU)：絶滅の危険が増大している種

準絶滅危惧 (NT)：存続基盤が脆弱な種

留意 (DD)：評価するだけの情報が不足している種

表 5.4-29 付着生物調査 確認種一覧（底生動物、目視観察）

番号	門	綱	目	科	和名	学名	重要種選定基準及びカテゴリー		H26.10	H27.6	H27.10	
							環境省	徳島県				
1	軟体動物	腹足	盤足	カタヒ	アツカタヒ	<i>Nodilittorina radiata</i>			○	○	○	
2				カタヒ	カタヒ	<i>Littorina brevicula</i>			○	○	○	
3		二枚貝	カキ	イガイ	ムササギイ	ムササギイ	<i>Mytilus galloprovincialis</i>					
4				ナミカシロ	ナミカシロ科	Anomiidae						
5				イボガキ	イボガキ科	Ostreidae			○	○	○	
6	環形動物	コカイ	カサシ	カサシコカイ	カサシコカイ科	Serpulidae			○	○	○	
7	節足動物	アソ	無柄	イワシ	イワシ	<i>Chthamalus challengerii</i>			○	○	○	
8				フジ	フジ	<i>Amphibalanus amphitrite</i>			○	○	○	
9				シロシ	シロシ	<i>Fistulobalanus albicostatus</i>			○	○	○	
10	軟甲	エビ		ヤドカリ	ヤドカリ目	Anomura			○		○	
11	苔虫動物	裸喉	唇口	アサカシ	アサカシ科	Bugulidae				○		
12					苔虫動物門	Bryozoa				○	○	
13	棘皮動物	ヒトデ	ヒトデ	ヒトデ	ヒトデ	<i>Asterias amurensis</i>				○		
14	脊索動物	イサ		マボヤ	ユレイヤ	<i>Ciona savignyi</i>				○		
15				マボヤ	シホヤ	シホヤ	<i>Styela clava</i>				○	
16						イサ	イサ(単体イサ類)	Ascidacea(Solitary)				○
12目14科16種							0	0	8	13	9	

注) 1. ○は出現を示す。

2. 重要種選定基準を以下に示す。

・環境省：

環境省レッドリスト（第4次レッドリスト），環境省報道発表資料，2012. 8. 28, 2013. 2. 1

絶滅（EX）：すでに絶滅したと考えられる種

野生絶滅（EW）：飼育・栽培下でのみ存続している種

絶滅危惧Ⅰ類（CR+EN）：絶滅の危機に瀕している種

絶滅危惧ⅠA類（CR）：ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高い

絶滅危惧ⅠB類（EN）：ⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高い

絶滅危惧Ⅱ類（VU）：絶滅の危険が増大している種

準絶滅危惧（NT）：現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種

情報不足（DD）：評価するだけの情報が不足している種

地域個体群（LP）：地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高い

・徳島県：

徳島県版レッドデータブック—徳島県の絶滅のおそれのある野生生物—，徳島県，2001.

（その他無脊椎動物：平成25年改訂，汽水・淡水魚類改訂：平成26年改訂）

絶滅（EX）：すでに絶滅した種

野生絶滅（EW）：飼育・栽培下でのみ存続している種

絶滅危惧Ⅰ類（CR+EN）：絶滅の危機に瀕している種

絶滅危惧ⅠA類（CR）：ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高い

絶滅危惧ⅠB類（EN）：ⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高い

絶滅危惧Ⅱ類（VU）：絶滅の危険が増大している種

準絶滅危惧（NT）：存続基盤が脆弱な種

留意（DD）：評価するだけの情報が不足している種

表 5.4-30 平成 26 年 10 月調査分 目視観察結果

観察区画	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
平均水面からの高さ (m)	+1.0 ～ +0.5	+0.5 ～ 0	0 ～ -0.5	-0.5 ～ -1.0	-1.0 ～ -1.5	-1.5 ～ -2.0	-2.0 ～ -2.5	-2.5 ～ -3.0	-3.0 ～ -3.5	-3.5 ～ -4.0	-4.0 ～ -4.5	-4.5 ～ -5.0	-5.0 ～ -5.5
基質	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	SM
植	藍藻綱	40	20										
アオサ属				r	r	r							
マクサ				r	20	r	+	+	r				
ヒメテングサ			r	5									
物	スジムカデノリ			20	10	20	+						
オキツノリ				r									
動	タマキビ	(2)	(3)										
アラレタマキビ	(1)	(1)											
イタボガキ科			+		+	r	30	20	10	+			
カンサシコカイ科						r		r					
イワシツボ		r											
シロスシフシツボ			r										
物	タテシマフシツボ	r	r	r	r								
ヤトカリ亜目				(1)									

注) 1. 表中の数値は被度 (%) を表し、+は5%未満、rは1%未満を示す。

動物で個体数計数可能な種類については ( ) 内の個体数で示す。

2. 基質の凡例を次に示す。C: 消波ブロック、SM: 砂泥

表 5.4-31 平成 27 年 6 月調査分 目視観察結果

観察区画	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
平均水面からの高さ (m)	+1.0 ～ +0.5	+0.5 ～ 0	0 ～ -0.5	-0.5 ～ -1.0	-1.0 ～ -1.5	-1.5 ～ -2.0	-2.0 ～ -2.5	-2.5 ～ -3.0	-3.0 ～ -3.5	-3.5 ～ -4.0	-4.0 ～ -4.5	-4.5 ～ -5.0	-5.0 ～ -5.5
基質	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	SM
植	藍藻綱	30	10										
アオサ属		10	+	5		r		r	+	r			
ジユスモ属					r	r	r	r	r				
フクロノリ							r						
ワカメ						5	20	30	5	10			
マクサ				+	70	20	20	5	5				
ヒメテングサ			r	10									
トサカマツ					r	r	r	+	r				
サクラノリ							r						
キョウノヒモ				r									
スジムカデノリ				30	20	+	r						
ツルツル									r				
タンハノリ								5	r				
フタラク					r	10	20	r	+	r			
ススカケハニ								r	r				
オコノリ							r	5					
物	オオハツノマタ				r						r		
イギス科								r	r	r	r		
イトクサ属						r				r			
動	タマキビ		(3)										
アラレタマキビガイ	(1)												
イタボガキ科			5	r	10	60	20	10	+	10	+	+	
カンサシコカイ科					r		r	r	r	r			
イワシツボ		r											
シロスシフシツボ		10	20										
タテシマフシツボ		r	5	r									
フサコケムシ科								r	r	20	20	5	
苔虫動物門								r	r	r	r	r	
マヒトデ											(2)	(2)	
物	ユウレイホヤ								(1)		(4)		
エホヤ											(2)		
単体ホヤ							(6)		(4)	(5)	(6)	(3)	

注) 1. 表中の数値は被度 (%) を表し、+は5%未満、rは1%未満を示す。

動物で個体数計数可能な種類については ( ) 内の個体数で示す。

2. 基質の凡例を次に示す。C: 消波ブロック、SM: 砂泥

表 5.4-32 平成 27 年 10 月調査分 目視観察結果

観察区画	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
平均水面からの高さ (m)	+1.0 ～ +0.5	+0.5 ～ 0	0 ～ -0.5	-0.5 ～ -1.0	-1.0 ～ -1.5	-1.5 ～ -2.0	-2.0 ～ -2.5	-2.5 ～ -3.0	-3.0 ～ -3.5	-3.5 ～ -4.0	-4.0 ～ -4.5	-4.5 ～ -5.0	-5.0 ～ -5.5
基質	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	SM
植	藍藻綱		30	2.5									
	アオサ属				50	0.5	0.5	0.5					
	シユスモ属					0.5	0.5	0.5					
	マクサ				0.5	60	20	10	5	5	0.5	0.5	
	ヒメテングサ			0.5	2.5								
	サビゑ科						0.5	0.5	0.5				
	トサカマツ							0.5		0.5			
	スシムカデノリ					20	2.5	0.5					
	フダラク					0.5		0.5					
	動物	タマキビ		(11)	(5)								
アブレタマキビ			(2)										
ムラサキカイ					(1)								
ナミカシロ科							(3)	(2)	(2)	(3)	(2)	(4)	
イホカキ科				10	2.5	10	20	10	10	5	5	2.5	2.5
カンサシコカイ科										0.5	0.5		
イワシツボ			0.5										
シロスシツボ			5	10									
タテシマツボ			0.5	0.5	0.5								
ヤトカリ亜目							2						
苔虫動物門									(1)	(1)	(1)		

注) 1. 表中の数値は被度 (%) を表し、+は5%未満、r は1%未満を示す。

動物で個体数計数可能な種類については ( ) 内の個体数で示す。

2. 基質の凡例を次に示す。C: 消波ブロック、SM: 砂泥

表 5.4-33 付着生物調査 確認種一覧（植物、坪刈り）

番号	門	綱	目	科	和名	学名	重要種選定基準及びカテゴリー		H26.10	H27.6	H27.10
							環境省	徳島県			
1	藍藻植物	藍藻			藍藻綱	Cyanophyceae				○	○
2	緑藻植物	緑藻	アオサ	アオサ	アオサ属	<i>Ulva</i> sp.			○	○	○
3			シオゲサ	シオゲサ	ジュスモ属	<i>Chaetomorpha</i> sp.			○		○
4					シオゲサ属	<i>Cladophora</i> sp.			○	○	○
5	褐藻植物	褐藻	イカワラ	イカワラ	イカワラ科	Ralfsiaceae			○		
6			クロガシラ	クロガシラ	クロガシラ属	<i>Sphacelaria</i> sp.			○	○	○
7	紅藻植物	紅藻	ウツクサ	ウツクサ	ウツクサ属	<i>Porphyra</i> sp.				○	
8			テングサ	テングサ	ヒメテングサ	<i>Gelidium divaricatum</i>			○	○	
9					マサキ	<i>Gelidium elegans</i>			○	○	○
10					テングサ属	<i>Gelidium</i> sp.			○	○	○
11			カクレイト	ムカデノリ	ムカデノリ属	<i>Grateloupia ramosissima</i>			○	○	○
12					ムカデノリ属	<i>Grateloupia</i> sp.				○	
13					ムカデノリ科	Halymeniaceae				○	
14			イモキ	イモキ	イモキ属	<i>Caulacanthus usutulatus</i>			○		
15			ウツクサ	ウツクサ	ウツクサ属	<i>Chondrus</i> sp.			○	○	○
16			ウツクサ	ウツクサ	ウツクサ属	<i>Ahnfeltiopsis flabelliformis</i>			○	○	
17					ウツクサ科	Phyllophoraceae				○	○
18			ウツクサ	ウツクサ	ウツクサ属	<i>Aglaethamnion</i> sp.			○	○	○
19					ウツクサ属	<i>Ceramium</i> sp.					○
20			フジマツモ	フジマツモ	フジマツモ属	<i>Polysiphonia</i> sp.				○	
10目13科20種							0	0	13	16	12

注) 1. ○は出現を示す。

2. 重要種選定基準を以下に示す。

・環境省：

環境省レッドリスト（第4次レッドリスト），環境省報道発表資料，2012.8.28, 2013.2.1

絶滅（EX）：すでに絶滅したと考えられる種

野生絶滅（EW）：飼育・栽培下でのみ存続している種

絶滅危惧Ⅰ類（CR+EN）：絶滅の危機に瀕している種

絶滅危惧ⅠA類（CR）：ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高い

絶滅危惧ⅠB類（EN）：ⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高い

絶滅危惧Ⅱ類（VU）：絶滅の危険が増大している種

準絶滅危惧（NT）：現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種

情報不足（DD）：評価するだけの情報が不足している種

地域個体群（LP）：地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高い

・徳島県：

徳島県版レッドデータブック—徳島県の絶滅のおそれのある野生生物—，徳島県，2001.

（その他無脊椎動物：平成25年改訂，汽水・淡水魚類改訂：平成26年改訂）

絶滅（EX）：すでに絶滅した種

野生絶滅（EW）：飼育・栽培下でのみ存続している種

絶滅危惧Ⅰ類（CR+EN）：絶滅の危機に瀕している種

絶滅危惧ⅠA類（CR）：ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高い

絶滅危惧ⅠB類（EN）：ⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高い

絶滅危惧Ⅱ類（VU）：絶滅の危険が増大している種

準絶滅危惧（NT）：存続基盤が脆弱な種

留意（DD）：評価するだけの情報が不足している種

表 5.4-34 付着生物調査 確認種一覧（底生動物、坪刈り）

番号	門	綱	目	科	和名	学名	重要種選定基準及びカテゴリ			
							環境省	徳島県		
							H26.10	H27.6	H27.10	
1	扁形動物	渦虫	ヒラシ	ヒラシ目	ヒラシ目	Polycladida				
2				渦虫綱	渦虫綱	Turbellaria				
3	紐形動物			紐形動物門	紐形動物門	Nemertea				
4	軟体動物	腹足	ツツガイ	ツツガイ目	ツツガイ目	Fascioida sp.				
5						Lottia sp.				
6		笠足	ツツガイ	ツツガイ目	ツツガイ目	Alaba picta				
7						Littoraria articulata				
8						Nodilittorina radiata				
9						Littorina brevicula				
10		新腹足	ツツガイ	ツツガイ目	ツツガイ目	Thais clavigera				
11						Muricidae				
12		異旋	ツツガイ	ツツガイ目	ツツガイ目	Pyramidellidae				
13		基眼	ツツガイ	ツツガイ目	ツツガイ目	Siphonaria sp.				
14		頭楯	ツツガイ	ツツガイ目	ツツガイ目	Haloa sp.				
15		二枚貝	ツツガイ	ツツガイ目	ツツガイ目	Barbatia sp.				
16						Mytilus galloprovincialis				
17						Aenostrobus atratus				
18						Aenostrobus securis				
19						Musculus cupreus				
20						Arcuatula senhousia				
21						Anomia chinensis				
22						Crassostrea gigas				
23						Crassostrea sp.				
24						Saccostrea sp.				
25						Ostreidae				
26						Trapesium liratum	NT			
27						Trapesium sp.				
28						Ruditapes philippinarum				
29						Irus sp.				
30	環形動物	ゴカイ	ツツガイ	ツツガイ目	ツツガイ目	Lepidonotus sp.				
31						Eumida sp.				
32						Syllinae				
33						Neanthes succinea				
34						Nereis heterocirrata				
35						Nereis multigutha				
36						Nereis neoneanthes				
37						Perinereis cultrifera				
38						Perinereis micdotonta				
39						Platynereis bicomuliculata				
40						Platynereis sp.				
41						Pseudonereis variegata				
42						Terebellidae				
43						Ficopomatus enigmaticus				
44						Serpulidae				
45	節足動物	ワカシ	無節	ワカシ目	ワカシ目	Chthamalus challengerii				
46						Amphibalanus eburneus				
47						Amphibalanus improvisus				
48						Fistulobalanus albicostatus				
49						Fistulobalanus kondskovi				
50		軟甲	ヨコエビ	ヨコエビ目	ヨコエビ目	Ampithoe sp.				
51						Isopoda				
52						Monocorophium sp.				
53						Pontogeniidae				
54						Aphysale sp.				
55						Protolyaia sp.				
56						Ptilolyaia sp.				
57						Hyalidae				
58						Gammaropsis sp.				
59						Jassa sp.				
60						Elasmopus sp.				
61						Melita sp.				
62						Pleustidae				
63						Stenothoe sp.				
64						Caprella penantis				
65						Caprella scaura				
66						Caprella sp.				
67						Cirolana sp.				
68						Dynoides sp.				
69						Gnathosphaeroma sp.				
70						Sinealobus sp.				
71						Pagurus minutus				
72						Pilumnidae				
73						Nanosesarma minutum				
74						Hemigrapsus takanoi				
75						Pinnotheres sinensis				
76						Pinnotheres sp.				
77						Megalopa of Brachyura				
78		昆虫	ハエ	ハエ目	ハエ目	Chironomidae				
79						Dolichopodidae				
80	苔虫動物	環喉	コブシ	コブシ目	コブシ目	Celleporinidae				
81	脊椎動物	硬骨魚	サメ	サメ目	サメ目	Tridentiger trigonocephalus	1	0	37	
23日46科81種									61	45

注) 1. ○は出現を示す。

2. 重要種選定基準を以下に示す。

・環境省：

環境省レッドリスト（第4次レッドリスト）、環境省報道発表資料、2012.8.28, 2013.2.1

絶滅 (EX)：すでに絶滅したと考えられる種

野生絶滅 (EW)：飼育・栽培下でのみ存続している種

絶滅危惧Ⅰ類 (CR+EN)：絶滅の危機に瀕している種

絶滅危惧ⅠA類 (CR)：ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高い

絶滅危惧ⅠB類 (EN)：ⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高い

絶滅危惧Ⅱ類 (VU)：絶滅の危険が増大している種

準絶滅危惧 (NT)：現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性がある種

情報不足 (DD)：評価するための情報が不足している種

地域個体群 (LP)：地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高い

・徳島県：

徳島県版レッドデータブック-徳島県の絶滅のおそれのある野生生物-、徳島県、2001。

(その他無脊椎動物：平成25年改訂、汽水・淡水魚類改訂：平成26年改訂)

絶滅 (EX)：すでに絶滅した種

野生絶滅 (EW)：飼育・栽培下でのみ存続している種

絶滅危惧Ⅰ類 (CR+EN)：絶滅の危機に瀕している種

絶滅危惧ⅠA類 (CR)：ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高い

絶滅危惧ⅠB類 (EN)：ⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高い

絶滅危惧Ⅱ類 (VU)：絶滅の危険が増大している種

準絶滅危惧 (NT)：存続基盤が脆弱な種

留意 (DD)：評価するための情報が不足している種

表 5.4-35 付着生物調査 重要種一覧(付着生物調査)


ウネナシトマヤガイ	
	余白

表 5.4-36 平成 26 年 10 月調査分 調査地点別 確認種一覧 (植物、坪刈り)

番号	門	綱	目	科	学名	和名	BP-1上	BP-1中	BP-1下	合計
							湿	湿	湿	湿
1	緑藻植物	緑藻	アオサ	アオサ	<i>Ulva</i> sp.	アサ属			1.09	1.09
2			シオクサ	シオクサ	<i>Chaetomorpha</i> sp.	シユスモ属			0.01	0.01
3					<i>Cladophora</i> sp.	シオクサ属			0.01	0.01
4	褐藻植物	褐藻	イカワラ	イカワラ	Ralfciaseae	イカワラ科			+	+
5			クロカシラ	クロカシラ	<i>Sphacelaria</i> sp.	クロカシラ属			0.02	0.02
6	紅藻植物	紅藻	テングサ	テングサ	<i>Gelidium divaricatum</i>	ヒメテングサ		1.00		1.00
7					<i>Gelidium elegans</i>	マクサ			11.20	11.20
8					<i>Gelidium</i> sp.	テングサ属			3.43	3.43
9			カクレイト	ムカデノリ	<i>Grateloupia ramosissima</i>	スジムカデノリ			26.52	26.52
10			スキノリ	イモッカ	<i>Caulacanthus ustulatus</i>	イタノツウ		+		+
11				スキノリ	<i>Chondrus</i> sp.	ツノタ属			0.12	0.12
12				オキツリ	<i>Ahnfeltiopsis flabelliformis</i>	オキツリ			3.21	3.21
13		イキス	イキス	<i>Aglaothamnion</i> sp.	キスイトクサ属			0.01	0.01	
種類数								2	11	13
合計							0.00	1.00	45.62	46.62

注) 1. 「湿」は湿重量の略。

2. 湿重量の「+」は0.01g/0.15㎡未満を示す。

調査期日：平成26年10月21日

調査方法：33cm枠コートをを用いた坪狩り採集

(単位：個体数；個体/0.1㎡、湿重量；g/0.1㎡)



表 5.4-37 平成 27 年 6 月調査分 調査地点別 確認種一覧（植物、坪刈り）

番号	門	綱	目	科	学名	和名	BP-1上	BP-1中	BP-1下	合計
							湿	湿	湿	湿
1	藍藻植物	藍藻			Cyanophyceae	藍藻綱	+	+		+
2	緑藻植物	緑藻	アオサ	アオサ	<i>Ulva</i> sp.	アオサ属		0.33	5.16	5.49
3			シオクサ	シオクサ	<i>Cladophora</i> sp.	シオクサ属			0.02	0.02
4	褐藻植物	褐藻	クロカシラ	クロカシラ	<i>Sphacelaria</i> sp.	クロカシラ属			0.52	0.52
5	紅藻植物	紅藻	ウシケリ	ウシケリ	<i>Porphyra</i> sp.	アマリ属		0.02		0.02
6			テングサ	テングサ	<i>Gelidium divaricatum</i>	ヒメテングサ		0.53		0.53
7					<i>Gelidium elegans</i>	マクサ			168.67	168.67
8					<i>Gelidium</i> sp.	テングサ属			9.75	9.75
9			カクレイト	ムカデノリ	<i>Grateloupia ramosissima</i>	ズシムカデノリ			77.93	77.93
10					<i>Grateloupia</i> sp.	ムカデノリ属			0.67	0.67
11					Halymeniaceae	ムカデノリ科			0.29	0.29
12			スキノリ	スキノリ	<i>Chondrus</i> sp.	ツノマタ属			3.25	3.25
13					<i>Ahnfeltiopsis flabelliformis</i>	ホヅリ			+	+
14					Phylloporaceae	ホヅリ科			0.42	0.42
15			イゲス	イゲス	<i>Aglaothamnion</i> sp.	キヌイトクサ属			0.06	0.06
16			フシマツモ		<i>Polysiphonia</i> sp.	イトクサ属			0.32	0.32
種類数							1	4	13	16
合計							+	0.88	267.06	267.94

注) 1. 「湿」は湿重量の略。

2. 湿重量の「+」は0.01g/0.15㎡未満を示す。

調査期日：平成27年6月1日

調査方法：33cm枠コートをを用いた坪狩り採集

(単位：個体数；個体/0.1㎡、湿重量；g/0.1㎡)

表 5.4-38 平成 27 年 10 月調査分 調査地点別 確認種一覧（植物、坪刈り）

番号	門	綱	目	科	学名	和名	BP-1上	BP-1中	BP-1下	合計
							湿	湿	湿	湿
1	藍藻植物	藍藻			Cyanophyceae	藍藻綱		0.13		0.13
2	緑藻植物	緑藻	アオサ	アオサ	<i>Ulva</i> sp.	アオサ属		+	1.26	1.26
3			シオクサ	シオクサ	<i>Chaetomorpha</i> sp.	シユスモ属			0.01	0.01
4					<i>Cladophora</i> sp.	シオクサ属			0.03	0.03
5	褐藻植物	褐藻	クロカシラ	クロカシラ	<i>Sphacelaria</i> sp.	クロカシラ属			0.01	0.01
6	紅藻植物	紅藻	テングサ	テングサ	<i>Gelidium elegans</i>	マクサ			16.47	16.47
7					<i>Gelidium</i> sp.	テングサ属			0.52	0.52
8			カクレイト	ムカデノリ	<i>Grateloupia ramosissima</i>	ズシムカデノリ			10.20	10.2
9			スキノリ	スキノリ	<i>Chondrus</i> sp.	ツノマタ属			3.71	3.71
10					Phylloporaceae	ホヅリ科			1.40	1.4
11			イゲス	イゲス	<i>Aglaothamnion</i> sp.	キヌイトクサ属			0.04	0.04
12					<i>Ceramium</i> sp.	イゲス属			0.01	0.01
種類数							0	2	11	13
合計							0.00	0.13	33.66	33.79

注) 「+」は0.01g/0.1㎡未満を示す。

表 5.4-39 平成 26 年 10 月調査分 調査地点別 確認種一覧（底生動物）

番号	門	綱	目	科	学名	和名	BP-1上		BP-1中		BP-1下		合計							
							個	湿	個	湿	個	湿	個	湿						
1	扁形動物	渦虫			Turbellaria	渦虫綱					1	0.01	1	0.01						
2	軟体動物	腹足	盤足	カタキ	<i>Littoraria articulata</i>	マルウスカタキ			1	0.01				1	0.01					
3					<i>Nodilittorina radiata</i>	ノヂリツキ			1	0.03					1	0.03				
4					<i>Littorina brevicula</i>	カタキ						4	0.06			4	0.06			
5			新腹足	ツキガイ		<i>Thais clavigera</i>	イシ					1	5.43	1	5.43					
6						Muricidae	ツキガイ科							1	0.02	1	0.02			
7			二枚貝			トウガイ	Pyramidellidae	トウガイ科					2	0.01	2	0.01				
8							<i>Barbatia</i> sp.	エビ貝属							1	0.07	1	0.07		
9							<i>Xenostrobus atratus</i>	カサネ			12	0.32					12	0.32		
10							<i>Xenostrobus securis</i>	カサネ			27	2.17			51	0.90	78	3.07		
11							<i>Arcuatula senhousia</i>	カサネ							2	0.01	2	0.01		
12							蚌	イサギ	キ	<i>Crassostrea gigas</i>	カサネ			15	18.73	139	19.82	154	38.55	
13										<i>Saccostrea</i> sp.	カサネ						16	7.05	16	7.05
14										<i>Trapezium</i> sp.	カサネ							1	+	1
15											<i>Irus</i> sp.	カサネ					2	0.01	2	0.01
16							環形動物	ゴカイ	カサネ	カサネ	<i>Neanthes succinea</i>	カサネ					2	0.01	2	0.01
17	<i>Perinereis mictodonta</i>	カサネ			1	+							5	0.20	6	0.20				
18	<i>Ficopomatus enigmaticus</i>	カサネ											3	0.01	3	0.01				
19	節足動物	アソビ	無柄	アソビ	<i>Amphibalanus eburneus</i>	アソビ			1	0.04	3	0.07	4	0.11						
20					<i>Amphibalanus improvisus</i>	アソビ			3	0.02			93	1.67	96	1.69				
21					<i>Fistulobalanus albicostatus</i>	アソビ					129	3.90			129	3.90				
22					<i>Fistulobalanus kondakovi</i>	アソビ					4	0.16	69	2.76	73	2.92				
23					軟甲	ヨコエ		ヨコエ	<i>Amphithoe</i> sp.	ヨコエ					25	0.09	25	0.09		
24									<i>Monocorophium</i> sp.	ヨコエ			6	+			43	0.02	49	0.02
25									Pontogeniidae	ヨコエ科							3	+	3	0.00
26									Hyalidae	ヨコエ科							1	+	1	+
27									<i>Jassa</i> sp.	ヨコエ							1	+	1	+
28									<i>Melita</i> sp.	ヨコエ			3	+			10	0.01	13	0.01
29									Pleustidae	ヨコエ科							1	+	1	0.00
30									<i>Gnorimosphaeroma</i> sp.	ヨコエ			39	0.15	133	0.49	172	0.64		
31									Pilumnidae	ヨコエ					4	0.02	4	0.02		
32					<i>Nanosesarma minutum</i>	ヨコエ			5	0.05	5	0.01	10	0.06						
33					<i>Hemigrapsus takanoi</i>	ヨコエ			13	0.19	83	0.69	96	0.88						
34					<i>Pinnotheres</i> sp.	ヨコエ					1	0.01	1	0.01						
35					Megalopa of Brachyura	ヨコエ			8	0.01	2	+	10	0.01						
36	昆虫	ヒメ			Chironomidae	ヒメ			8	+			8	+						
37	脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ヒメ	<i>Tridentiger trigonocephalus</i>	ヒメ					1	0.77	1	0.77						
							種類数				32		49	0.00						
							合計	1	0.03	275	25.75	709	40.22	985	66.00					

注) 1. 「個」は個体数の略。  
 2. 「湿」は湿重量の略。  
 3. 湿重量の「+」は0.01g/0.15mf未満を示す。

調査期日：平成26年10月21日  
 調査方法：33cm枠コトネットを用いた採集  
 (単位：個体数；個体/0.1mf、湿重量；g/0.1mf)

表 5.4-40 平成 27 年 6 月調査分 調査地点別 確認種一覧 (底生動物)

番号	門	綱	目	科	学名	和名	BP-1上		BP-1中		BP-1下		合計	
							個	湿	個	湿	個	湿	個	湿
1	扁形動物	渦虫	ヒラム		Polycladida	ヒラム目					4	0.51	4	0.51
2	紐形動物				Nemertinea	紐形動物門					3	0.01	3	0.01
3	軟体動物	腹足	カタガイ	ニキ/カタガイ	<i>Patelloida</i> sp.	カタガイ属					1	0.02	1	0.02
4					<i>Lottia</i> sp.				1	0.04	6	0.11	7	0.15
5			盤足	カタギ	<i>Nodilittorina radiata</i>	アサギカタギ	2	0.05					2	0.05
6					<i>Littorina brevicula</i>	カタギ			787	5.07			787	5.07
7			異旋	カタガイ	Pyramidellidae	カタガイ科					51	0.33	51	0.33
8			頭楯	アトカタガイ	<i>Haloa</i> sp.	アトカタガイ属					2	0.14	2	0.14
9		二枚貝	カタガイ		<i>Mytilus galloprovincialis</i>	アサギカタガイ			2	0.01	718	4.11	720	4.12
10					<i>Xenostrobus atratus</i>	カタガイ			77	2.16			77	2.16
11					<i>Xenostrobus securis</i>	カタガイ			6	0.38	139	16.35	145	16.73
12					<i>Musculus cupreus</i>	カタガイ					2	0.04	2	0.04
13					<i>Arcuatula senhousia</i>	カタガイ					23	0.85	23	0.85
14			蚌	イサギ	<i>Crassostrea gigas</i>	イサギ			7	35.11	38	258.75	45	293.86
15					<i>Crassostrea</i> sp.	イサギ属			13	14.25	40	14.05	53	28.30
16					<i>Saccostrea</i> sp.	イサギ属			1	12.05			1	12.05
17					Ostreidae	イサギ科			18	2.03	32	5.41	50	7.44
18			カタガイ	カタガイ	<i>Trapezium liratum</i>	カタガイ								
19					<i>Trapezium</i> sp.									
20	環形動物	ゴカイ	カタガイ		<i>Lepidonotus</i> sp.						1	0.01	1	0.01
21					Syllinae	シリス亜科			1	0.01			1	0.01
22			カタガイ		<i>Nereis heterocirrata</i>	カタガイ					20	0.12	20	0.12
23					<i>Nereis multignatha</i>	カタガイ					12	0.37	12	0.37
24					<i>Nereis neoneanthes</i>	カタガイ					1	0.10	1	0.10
25					<i>Perinereis cultrifera</i>	カタガイ					17	0.44	17	0.44
26					<i>Perinereis mictodonta</i>	カタガイ					17	1.25	17	1.25
27					<i>Platynereis bicanaliculata</i>	カタガイ					1	0.12	1	0.12
28					<i>Platynereis</i> sp.						4	0.02	4	0.02
29					<i>Pseudonereis variegata</i>	カタガイ			4	0.59			4	0.59
30					<i>Ficopomatus enigmaticus</i>	カタガイ					3	0.01	3	0.01
31	節足動物	アマガイ	無柄		<i>Chthamalus challenger</i>	アマガイ	4	0.18					4	0.18
32					<i>Amphibalanus eburneus</i>	アマガイ					11	1.26	11	1.26
33					<i>Amphibalanus improvisus</i>	アマガイ					53	5.46	53	5.46
34					<i>Fistulobalanus albicostatus</i>	アマガイ			164	76.88			164	76.88
35					<i>Fistulobalanus kondakovi</i>	アマガイ			16	12.96	24	15.35	40	28.31
36			軟甲	カタガイ	<i>Ampithoe</i> sp.	カタガイ属					116	0.43	116	0.43
37					Aoridae	カタガイ科					10	+	10	0.00
38					<i>Monocorophium</i> sp.				8	0.01	11	0.01	19	0.02
39					Pontogeneiidae						379	0.38	379	0.38
40					<i>Apohyale</i> sp.				17	0.04			17	0.04
41					<i>Protolyale</i> sp.						54	0.11	54	0.11
42					<i>Ptilolyale</i> sp.				11	0.01			11	0.01
43					<i>Gammaropsis</i> sp.	カタガイ属					32	+	32	0.00
44					<i>Jassa</i> sp.	カタガイ属			1	+	160	0.04	161	0.04
45					<i>Elasmopus</i> sp.	カタガイ属					28	0.05	28	0.05
46					<i>Melita</i> sp.	カタガイ属					22	0.02	22	0.02
47					<i>Stenothoe</i> sp.	カタガイ属					105	0.01	105	0.01
48					<i>Caprella penantis</i>	カタガイ					44	0.05	44	0.05
49					<i>Caprella scaura</i>	カタガイ					9	0.02	9	0.02
50					<i>Caprella</i> sp.	カタガイ属			2	0.01			2	0.01
51			カタガイ	カタガイ	<i>Dynoides</i> sp.	カタガイ属					2	+	2	0.00
52					<i>Gnorimosphaeroma</i> sp.	カタガイ属			3	0.02	10	0.10	13	0.12
53			カタガイ	カタガイ	<i>Sinilobus</i> sp.	カタガイ					5	+	5	0.00
54					<i>Pagurus minutus</i>	カタガイ					1	0.48	1	0.48
55					Pilumnidae	カタガイ科					1	0.04	1	0.04
56					<i>Hemigrapsus takanoi</i>	カタガイ					28	1.26	28	1.26
57					<i>Pinnotheres sinensis</i>	カタガイ					1	0.03	1	0.03
58					<i>Pinnotheres</i> sp.	カタガイ属					2	0.01	2	0.01
59			昆虫	カタガイ	Chironomidae	カタガイ科			9	0.01	14	0.02	23	0.03
60					Dolichopodidae	カタガイ科			6	0.05			6	0.05
61	苔虫動物	裸喉	カタガイ		Celleporinidae	カタガイ科					*	0.08	*	0.08
							種類数							
							合計							

注) 1. 「個」は個体数の略。  
 2. 「湿」は湿重量の略。  
 3. 湿重量の「+」は0.01g/0.15㎡未満を示す。  
 調査期日：平成27年6月1日  
 調査方法：33cm枠コドットを用いた採集  
 (単位：個体数；個体/0.1㎡、湿重量；g/0.1㎡)

【 〇 】は、貴重種保護の観点より非公開

表 5.4-41 平成 27 年 10 月調査分 調査地点別 確認種一覧（底生動物）

番号	門	綱	目	科	学名	和名	BP-1上		BP-1中		BP-1下		合計							
							個	湿	個	湿	個	湿	個	湿						
1	扁形動物	渦虫	ヒラムシ		Polycladida	ヒラムシ目					2	0.01	2	0.01						
2	軟体動物	腹足	盤足	カタキ	<i>Alaba picta</i>	シマカタキ					11	0.04	11	0.04						
3					<i>Nodilittorina radiata</i>	アレルカタキ	8	0.04						8	0.04					
4					<i>Littorina brevicula</i>	カタキ	6	0.31	38	1.18	1	0.01	45	1.50						
5					異旋	トウカタキ	Pyramidellidae	トウカタキ科					6	0.03	6	0.03				
6					基眼	カタキ	<i>Siphonaria</i> sp.	カタキ目			1	0.12			1	0.12				
7					二枚貝	カタキ	カタキ	<i>Barbatia</i> sp.	カタキ目					2	0.01	2	0.01			
8								<i>Mvtilus galloprovincialis</i>	カタキ目			10	4.63	10	4.63					
9								<i>Xenostrobus atratus</i>	カタキ目			7	0.16	7	0.16					
10								<i>Xenostrobus securis</i>	カタキ目			1	+	106	2.05	107	2.05			
11								<i>Arcuatula senhousia</i>	カタキ目							13	0.27	13	0.27	
12								カタキ	<i>Anomia chinensis</i>	カタキ目						1	0.04	1	0.04	
13								カタキ	<i>Crassostrea gigas</i>	カタキ目					1	0.79	1	15.97	2	16.76
14									<i>Saccostrea</i> sp.	カタキ目					2	29.09	2	29.09		
15									Ostreidae	カタキ目					32	0.70	37	8.40	69	9.10
16								カタキ	<i>Trapezium liratum</i>	カタキ目										
17									<i>Trapezium</i> sp.	カタキ目							2	0.01	2	0.01
18						<i>Ruditapes philippinarum</i>	カタキ目							1	0.01	1	0.01			
19	環形動物	カタキ	カタキ	<i>Lepidonotus</i> sp.	カタキ目					2	0.01	2	0.01							
20				<i>Eumida</i> sp.	カタキ目							2	0.01	2	0.01					
21				カタキ	<i>Nereis heterocirrata</i>	カタキ目							2	0.03	2	0.03				
22					<i>Nereis multignatha</i>	カタキ目							2	0.02	2	0.02				
23					<i>Perinereis cultrifera</i>	カタキ目							6	0.03	6	0.03				
24					<i>Perinereis mictodonta</i>	カタキ目							3	0.02	3	0.02				
25					<i>Platynereis</i> sp.	カタキ目							2	0.01	2	0.01				
26				カタキ	Ierebellidae	カタキ目							2	+	2	+				
27				カタキ	Serpulidae	カタキ目							1	+	1	+				
28				節足動物	カタキ	無柄	カタキ	<i>Chthamalus challengeri</i>	カタキ目	5	0.15	4	0.04			9	0.19			
29	節足動物	カタキ	無柄	カタキ	<i>Amphibalanus eburneus</i>	カタキ目					1	0.01	1	0.01						
30					<i>Amphibalanus improvisus</i>	カタキ目							11	0.27	11	0.27				
31					<i>Fistulobalanus albicostatus</i>	カタキ目						567	99.06			567	99.06			
32					<i>Fistulobalanus kondakovi</i>	カタキ目								27	0.90	27	0.90			
33					カタキ	<i>Ampithoe</i> sp.	カタキ目							12	0.04	12	0.04			
34					カタキ	<i>Monocorophium</i> sp.	カタキ目							27	0.02	27	0.02			
35					カタキ	Pontogeneiidae	カタキ目							4	0.01	4	0.01			
36					カタキ	Hyalidae	カタキ目							3	+	5	+			
37					カタキ	<i>Jassa</i> sp.	カタキ目							2	+	2	+			
38					カタキ	<i>Elasmopus</i> sp.	カタキ目							7	0.01	7	0.01			
39	カタキ	<i>Melita</i> sp.	カタキ目							3	+	3	+							
40	カタキ	<i>Cirolana</i> sp.	カタキ目							1	+	1	+							
41	カタキ	<i>Dvnoides</i> sp.	カタキ目							2	+	2	+							
42	カタキ	<i>Gnorimosphaeroma</i> sp.	カタキ目							1	+	95	0.23	96	0.23					
43	カタキ	<i>Hemigrapsus takanoi</i>	カタキ目							22	0.42	22	0.42							
44	カタキ	<i>Pinnotheres</i> sp.	カタキ目							4	0.02	4	0.02							
45	昆虫	カタキ	カタキ	カタキ	Chironomidae	カタキ目					1	+	1	+						
							種類数													
							合計													

注) 湿重量の「+」は0.01g/0.1mf未満を示す。

【          】は、貴重種保護の観点より非公開